

目標管理型の政策評価に係る評価書の標準様式

施策名	目標7-2 水俣病対策				
施策の概要	水俣病については、水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法等に基づき、水俣病被害者の救済対策、水俣病発生地域の環境福祉対策の強化を図る。また、水俣病経験の情報発信と国際貢献及び水俣病に関する総合的研究を進める。				
達成すべき目標	水俣病認定者に対する迅速な補償給付。水俣病発生地域の再生・融和の促進。我が国の経験や技術を活かした情報発信と国際貢献。				
施策の予算額・執行額等	区分	22年度	23年度	24年度	25年度
	当初予算(a)	12,103,245	13,235,964	15,035,487	14,711,082
	補正予算(b)	△1,328,094	672,543	0	0
	繰り越し等(c)	40,373,534	11,521,346	(※記入は任意)	(※記入は任意)
	合計(a+b+c)	51,148,685	25,429,853	(※記入は任意)	(※記入は任意)
執行額(千円)	49,048,800	22,933,959	(※記入は任意)	(※記入は任意)	
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法」及び同法に基づく「救済措置の方針」				

測定指標	1 水俣病患者に対する療養費の支給の進捗状況	/	施策の進捗状況(実績)	目標値
			水俣病被害者手帳等保有者に対する療養費(はり・きゅう施術費・温泉療養費含む)を着実に支給。	年度 —
	2 水俣病発生地域における医療・福祉事業の進捗状況	/	施策の進捗状況(実績)	目標
			胎児性水俣病患者や高齢化した水俣病被害者等の生活支援、神経症状の緩和、運動障害等の改善・維持につながるリハビリテーションの実施等の事業を、地方公共団体等と連携して実施。	年度 —
	3 水俣病関連情報発信事業(講座・研修等)の進捗状況	/	施策の進捗状況(実績)	目標
			水銀による環境汚染等の問題を抱える東・東南アジアの国々を中心に、若手の環境行政担当者等を水俣に招聘し研修を行うとともに、環境問題・地域再生に関心のある市民、教育関係者、環境・教育を学ぶ学生、自治体、企業を対象としたセミナーを開催。	年度 —

施策に関する評価結果	目標の達成状況	「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法の救済措置の方針」に基づき、あたら限りの救済に向けて最大限の努力を行った。平成24年2月に申請期限を同年7月末と設定し、国、関係県、原因企業等による、精力的な周知広報を実施した。また、救済措置に加えて、引き続き水俣病問題の解決を図るために、「水俣病問題の解決に向けた当面の取組について」を公表し、水俣病に関する健康調査、医療・福祉施策の充実、地域の再生・融和(もやい直し)の推進や地域振興に重点を置いた様々な施策をとりまとめ、講じているところである。
	目標期間終了時点の総括	-

学識経験を有する者の知見の活用	
-----------------	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	
---------------------------	--

担当部局名	環境保健部特殊疾病対策室	作成責任者名	小林 秀幸	政策評価実施時期	平成25年6月
-------	--------------	--------	-------	----------	---------